

あなたはふるさと遠野について どのくらい知っていますか?

問題 1

遠野町の平成二十(二〇〇八)年現在の総人口は、次のうちどれにもっとも近い?

- 1 約四八〇〇人
- 2 約五五〇〇人
- 3 約六三〇〇人
- 4 約七二〇〇人

問題 2

上遠野村と入遠野村がいつしよになって遠野町になったのはいつ?

- 1 明治元年
- 2 明治二十二年
- 3 昭和三十年
- 4 昭和四十一年

問題 3

遠野町と面積がほぼ同じ大きさの湖は、次のうちどれ?

- 1 猪苗代湖〈福島県〉
(一〇三・三平方キロメートル、全国第五位)
- 2 十和田湖〈青森県・秋田県〉
(六一・二平方キロメートル、全国第十二位)
- 3 霞ヶ浦〈茨城県〉
(一六七・六平方キロメートル、全国第二位)
- 4 桧原湖〈福島県〉
(一〇・四平方キロメートル、裏磐梯でいちばん大きい)



問題 4

遠野町の名所の中で海が見えるのは、次のうちどこ(二)か所ありますか？

- 1 八潮見城跡
- 2 滝富士
- 3 往生山
- 4 遠野オートキャンプ場

問題 5

遠野町の総人口のうち、六十五歳以上の人が占める割合は、次のうちどれ？

- 1 人口全体の二割
- 2 人口全体の三割
- 3 人口全体の半分
- 4 人口全体の六割

問題 6

江戸時代から昭和にかけて遠野で栄えた産業は、次のうちどれ？ あてはまるものをぜんぶ選んでください。

- 1 手漉き和紙
- 2 馬の生産
- 3 宿場産業
- 4 りんご栽培

問題 7

いま、日本で絶滅が心配されている動植物で、遠野町で見られるのは、次のうちどれ？ あてはまるものをぜんぶ選んでください。

- 1 トキ
- 2 ゲンジボタル
- 3 カジカ
- 4 カタクリ

(答えは次のページにあります。)

遠野町の現状

遠野町はいまこんなことになっています

面積

〈問題3の答え1〉

遠野町の広さは二〇四・五三平方キロメートル。

これは、猪苗代湖にぴったり収まるくらいのおおきさです。なんと形もそっくりです。



人口

〈問題1の答え…3〉
〈問題5の答え…2〉

遠野町には平成二十(二〇〇八)年十月現在、約六三〇〇人が住んでいます。六十五歳以上の人が占める割合は、総人口の約三割です。

十四歳以下の人は、約一割です。昭和四十(一九六五)年と平成二十(二〇〇八)年をくらべてみましょう。

昭和40年

人口 **9,208** 人



65歳以上：782人(8.5%)



14歳以下：3,151人(34.2%)

平成20年

人口 **6,294** 人



65歳以上：1,889人(30.0%)

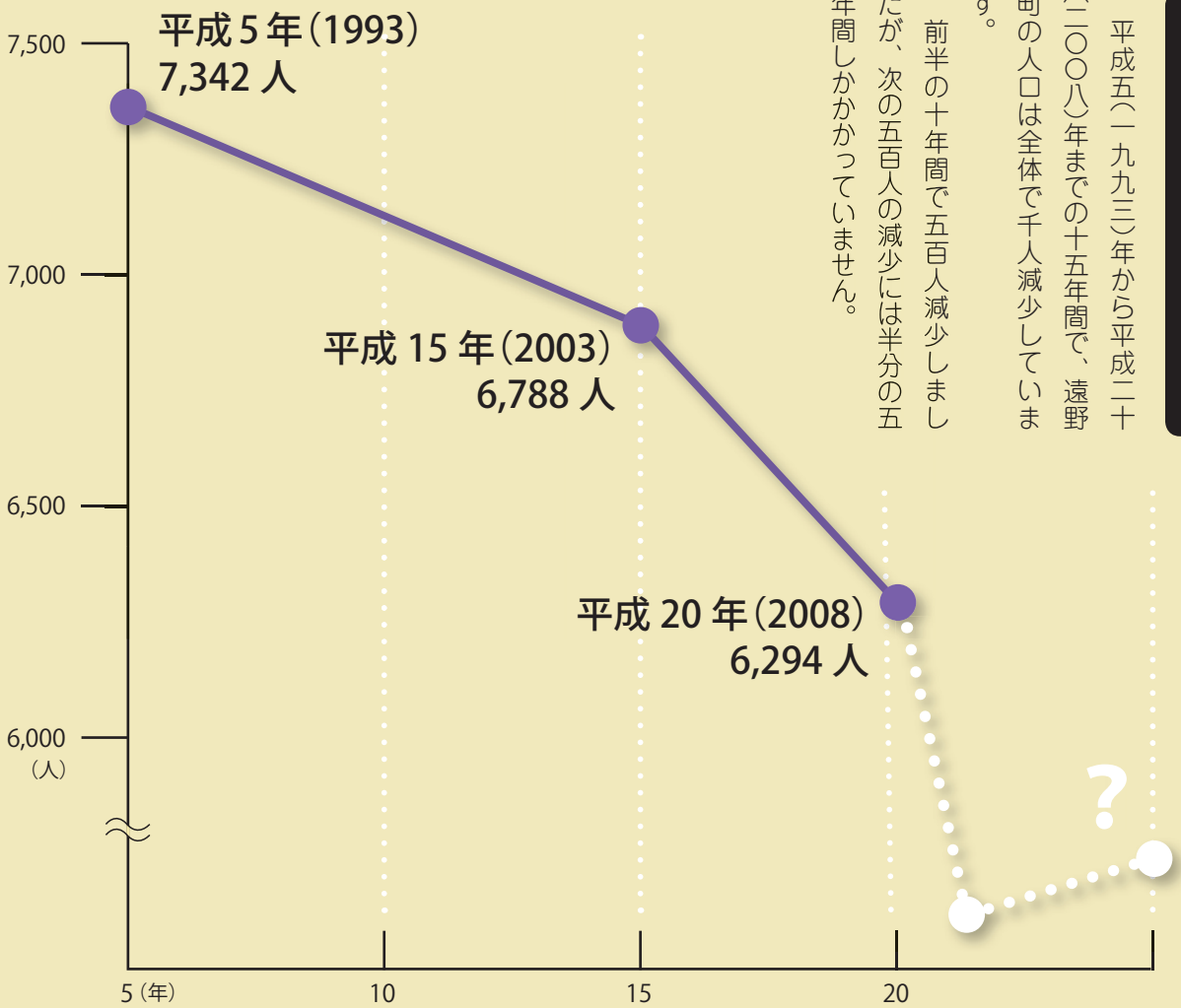


14歳以下：717人(11.4%)

人口減少のスピード

平成五（一九九三）年から平成二十（二〇〇八）年までの十五年間で、遠野町の人口は全体で千人減少しています。

前半の十年間で五百人減少しましたが、次の五百人の減少には半分の五年間しかかかっていません。



遠野の これからを考える

日本は、世界は、これからどうなるでしょうか？ そして遠野町は、十年後、二十年後、いったいどうなっているのでしょうか？

平成二十（二〇〇八）年度生まれの子どもたち全員が、遠野町に残っていれば、新入小学生は三十六人です。

その子どもたちが成人するとき、いま三十歳の人は五十歳に、五十歳の人は七十歳になっています。

そのときの遠野町と自分の姿が想像できますか？

遠野には、縄文時代から歴史が息づいています。

そしてわたしたちも、いままさに歴史をつくっているのです。

みんなで、力を合わせ、活力のある遠野町をつくっていくことはありませんか。

わたしたちの責任で次の世代に胸を張って引き継げる、豊かな遠野町をつくりたいものです。

〈問題2の答え…3〉

〈問題6の答え…1 2 3〉

〈問題4の答え…1 2〉

〈問題7の答え…2 3 4〉

遠野町が抱える問題

大好きな町にするには、ちよつと胸が痛むような問題に向き合うことからはじめよう！

地域のみなさんから、困っていることや、なんとかしたいと思っっていることが寄せられています。何年にもわたってみなさんが憂慮している問題だけをピックアップしてみました。たくさんあるようですが、いくつかの大きなテーマに集約していくことができそうです。

産業・経済 社会基盤の問題

- ・ 地域産業全体の、後継者不足、高齢化。
- ・ 住民の心のよりどころとなる公共施設がない。
- ・ 農業収入だけで生活するのが難しくなってきた。↓専業農家の減少。
- ・ 率先して、意欲的に、新しい形態に取り組む農家が少ない。
- ・ 養殖業、遊漁事業の不振。
- ・ 商店街の衰退、商業の形態が時流に乗り遅れている。

自然・環境問題

- ・ 環境意識の低下(ドラム缶でゴミを燃やしている、御斎所街道、龍神峡などのごみ、不法投棄、生活排水の垂れ流し)。
- ・ ホタルの数が減っている。
- ・ セールスポイントの「川」を活かしきれていない。 河川の水量が少ない。
- ・ 川は汚れている(農業排水、生活排水)。
- ・ 花いっぱい運動―地域の人の協力が無い。
- ・ 花いっぱい運動―毎年植替えするのは花や

生活・福祉・文化・教育の問題

- ・ 出生率の低下、若者の離町による人口減少子化、過疎化。
- ・ インターネット環境が悪く、情報通信化時代に乗り遅れている
- ・ 役所の時間外サービスが無く不便。
- ・ 子ども会、青年会、婦人会がない地区がある。
- ・ UJ-ターナー者の受け入れ態勢がない。空き家提供者が少ない。
- ・ 子どもの登下校や老人の通行、歩行に危険な箇所が多い。

- ・商店の事業規模が小さくなっている。
- ・地元で買い物をする人が少なくなった。
- ・工場の新規進出がみられない。
- ・観光資源が地域のなかで散在している。観光施設の整備が不十分。
- ・伝統技能を習得しても生活できない。
- ・市内各地との観光施設（ハワイアンズやアクアマリンなど）との連携が不足。
- ・町の中は駐車場が無く、路上駐車が多い。
- ・農免道などの整備が進んでいない。
- ・路線バス廃止の危機と不安。



まとめとなるよ……

経済的な基盤が揺らいでいる
↓
みんなの元気がない。



どうしたらいいの？

みんなのアイデアを出しあって、創意工夫で経済を活性化させよう！

- ・肥料がもったいない。
- ・老人会の高齢化で花を植える作業に限界がある。
- ・龍神峡などにあるめずらしい植物をもっと保護すべきではないか。
- ・山林原野の手入れをしなくなった（する人がいなくなった）。
- ・里山のよさに目を向ける人が少ない。



まとめとなるよ……

豊かな自然の恩恵を感じていない。環境問題に関する意識が低い
↓
ふるさとに誇りがもてない。



どうしたらいいの？

地域の宝物である自然環境をもう一度よく見直そう！ きらりと光るものをもっと磨いて本当の宝物に。

- ・昼間人口が少ないため留守中の安全に不安がある。お年寄りも不安に感じている。
- ・共稼ぎ世帯の生活支援体制がない。地域活動に参加しない、できない。
- ・団塊世代の活躍の場がない。
- ・地域振興の連携に欠ける、地域の統一したビジョンが見えない。
- ・地域を担える人材を育てていない。
- ・自然災害対策が進んでいない。



まとめとなるよ……

遠野町に住むメリットが少なく、住みにくい町に思えてしまう。それじゃあ、人は減るばかり！



どうしたらいいの？

ちょっとくらい不便でも、住んでいて楽しい町にしよう。安全で住みやすい、人が支えあう魅力的なコミュニティにしよう！